

かつてここから見た 大井町・富士見町

大井尋常小学校・市営大井プール（現在地より北方面）

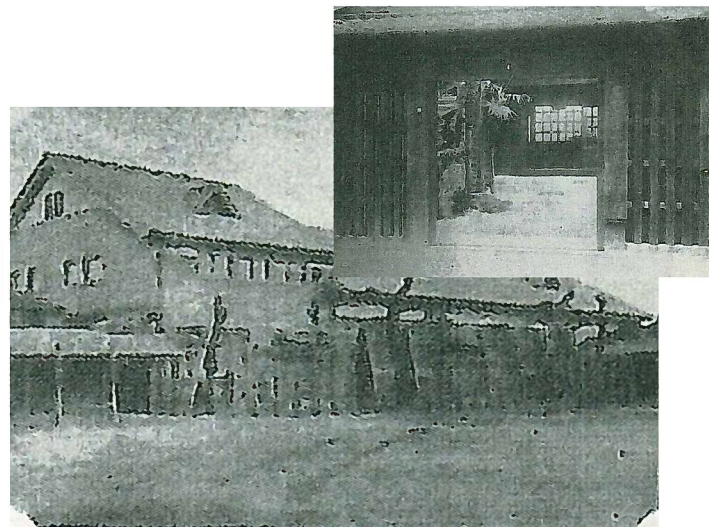
大井尋常小学校

現在、女性会館（イーブルなごや）が建つこの場所に、大井尋常小学校がありました。現在の女性会館の敷地から山王線をはさんで向かい側の敷地まで小学校の敷地でした。昭和二〇年に戦災で焼失し、昭和二十一年に平和小学校に統合されました。

市営大井プール

大井プールは、昭和二十九年三月に大井尋常小学校跡地に建設されました。練習プールと徒歩池（幼児用プール）が設置され、中区唯一の市営プールとして多くの人が訪れました。

昭和五十三年には、婦人会館の開設に伴い、地上から施設屋上へと移設。平成二〇年に閉所するまで区民に親しまれました。



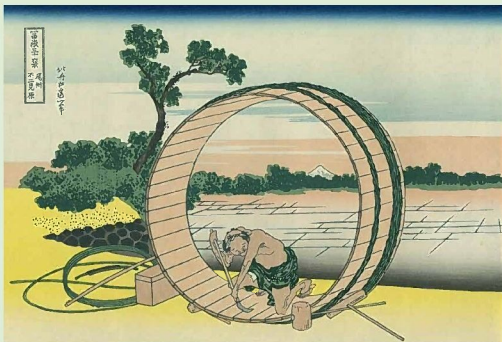
↑大井尋常小学校校舎（平和小学校 編 開校百周年記念要覧より）



↑子どもで賑わう大井プールの徒歩池（名古屋市水道五十年史より）
開設当時のプール使用料は1時間までごとに10円だった。

葛飾北斎が描いた富士見町

尾州不二見原 葛飾北斎「富嶽三十六景」



「北斎漫画」が名古屋から発信され
葛飾北斎の名が全国に知れ渡った。
桶屋の絵は北斎漫画にも描かれている。

「桶屋の富士」とも呼ばれる本作品は、かつてこの地にあった「不二見原」という景勝地を描いたもの。二つと見ることでできないような絶景を望める地「不二見原」は富士見町の名前の由来とも言われています。